



カ ワ ラ ナ デ シ コ

指定名称 カワラナデシコ（町指定天然記念物）
所在地 久米島町字謝名堂南兼久原（イーフ）548-1
指定年月日 昭和47年9月2日（旧仲里村指定）
所有者 久米島町

カワラナデシコは、ナデシコ科の多年性草本で、秋の七草の一つである。久米島ではハマナデシコとも呼ばれ、5～6月頃に白色（又は淡紅色）の花を咲かせる。乾燥した原野や海岸砂丘の内陸側に生え、本州から久米島、渡名喜島に生育し、朝鮮・台湾・中国などに分布している。

終戦直後までは、イーフビーチの浜辺一帯に群生していたようだが、現在では、リゾートホテルの建設や農耕地の開発による環境の変化で絶滅の危機

に瀕している。

カワラナデシコは、分布上珍しい植物であり、早急に保護しなければならない貴重な植物である。